

○スローガン

- 「ing」は英語なので高齢者には伝わりづらい
- 「バレー」かっこいい。かっこよすぎる
- 「逸品」等ほめるワードは町民に対してのメッセージがわからない？
- 「ほれぼれ」かわいい。ちょうどいいワード

強いて言えばこれ！

- B案（何が千年なのか気になって調べたくなる）
 - G案（「ほれぼれ」がすき。雰囲気がいい）
 - I案（農家になって作物の「旬」を知った。旬を味わうって「粋」「贅沢だと思った」）
- **「千年の品格、旬めぐるくにもVALLEY」**

○ □ ゴ

A グループ

- ロゴをみてここに行きたいと思わせる
- 「福島県」は入れてほしい！（ふくしまor福島？）
- 「横文字」が入っていると抵抗あり
- 「読み方がわかるようにしてほしい」（ローマ字orかな）
- 「町」をつける？つけない？

気に入ったロゴ

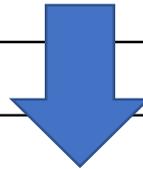
- りんごっぽいロゴがかわいい（フルーツアウトライン）
- C案（国見自慢イラスト）

・ **ロゴマーク・スローガンについて**

シンプルなもののほうが良い、デジタル感が強いものよりは手書き寄り
→国見のあたたかみが伝わるのでは

- ・ バレー(盆地)という言葉には住んでる人からするとネガティブなイメージがある。(暑い寒いが極端)
- ・ マークに多くの文字はいらなと思う、一目見た感じのわかりやすさ
- ・ 逸品や品格といった言葉はちょっと豪華すぎるのではないか。上質はピッタリな言葉だと思う。

課題等に対する解決策



・ **上質な国見暮らし**

・ **1000年の上質国見町**

国見町民の暮らしは町民にとっては当たり前のことではあるが、他県やほかの地域の人にとっては上質なもの。
→そのことに町民が気づいていなく、発信する手段もわからない人が多い。

国見町の上質な暮らしを伝える一つ的手段として、農業体験(かまどで飯炊き・餅つき・農産物の収穫など)が年間通してできるところがあるとその上質さが伝わるのではないか？

体験してみるのが伝わるのが一番早い。

スローガンやロゴマークでそういったところが伝わりやすいと思う。

○国見版CI策定の目的につながっているか

(1) 認知度や価値の向上につなげるには、言葉の選び方や、フォントの選定や、タイポグラフィなどが先進的であることが必要

(2) 対象が広すぎて、他市町村との違い、差別化につながらない

(3) 住み良い町であることはわかるが、積極的に住みたいまちと思えるような表現がない。

(4) 写真に乗せて発信する場合など、使いやすさを考慮すると色やモチーフはないほうが良い。

○町のイメージと提案内容があっているか

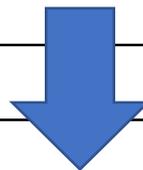
・柔軟さ、外の人を受けいれる気風などが伝わるデザインが良い

・これから何かが始まっていく期待感を、言葉ではなくグラフィックで表現すべき。

○町外だけでなく、町民に伝わりやすいか

・町民には伝わりやすいと思うが、これまでの国見町と変わらないという印象。

課題等に対する解決策



- ・スローガンをもう少し絞って、言葉の選定を再考する必要がある。
- ・「国見町」という感じを使って、フォントやタイポグラフィを再考するのが良いのでは？